

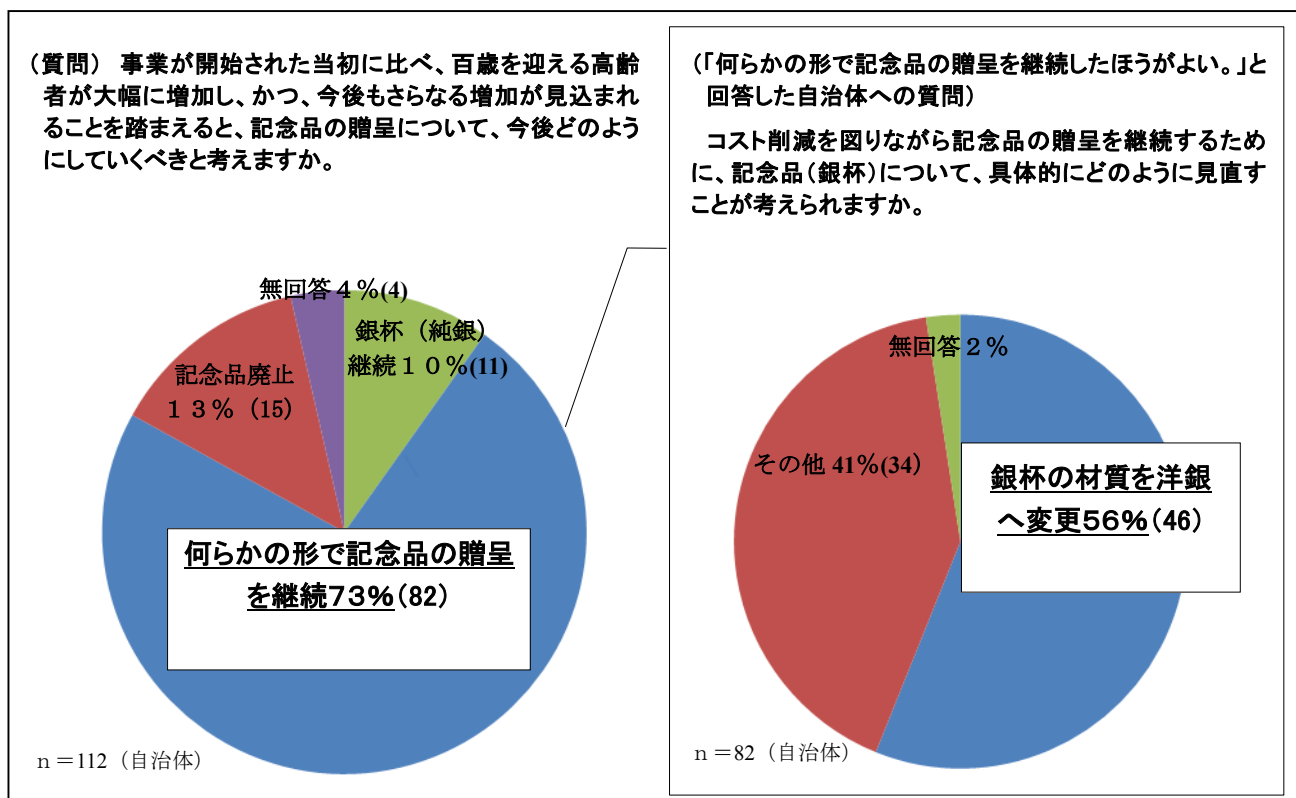
7. 百歳高齢者記念事業の記念品（銀杯）の見直しについて

百歳高齢者記念事業については、昭和38年度以降、老人の日（9月15日）に、百歳を迎える高齢者に対し、内閣総理大臣からお祝い状及び記念品（銀杯）を贈呈しているところであるが、平成27年度行政事業レビュー公開プロセスを行った結果、銀杯の贈呈について「事業全体の抜本的改善」の評価を受けた。

※ 評価結果：「事業全体の抜本的改善」

※ とりまとめコメント：本事業が開始された昭和38年度と比べて百歳を迎える高齢者が大幅に増加し、かつ、今後もさらなる増加が見込まれることに鑑み、見直し案をこえて、銀杯の贈呈は廃止し、国として長寿を祝い、社会発展への寄与に感謝するに当たり、今後はお祝い状の贈呈のみの事業とすることが必要。

一方、地方自治体や国民の間に記念品の贈呈の継続を希望する声もあること等を踏まえ、記念品（銀杯）の見直しについて、平成27年10月に地方自治体へアンケートを行ったところ、結果は以下のとおりであった。



以上を踏まえ、銀杯の材質を純銀から洋銀に変更し、費用の抑制を図りながら記念品の贈呈を継続することとし、平成28年度予算案に計上しているので、ご了解願いたい。

※ 27年度予算：2.7億円 → 28年度予算（案）：1.5億円